

横断歩道での 信号待ちの時間が分かりますか？



宍戸 栄徳
香川大学名誉教授

Harunori
Shishido

1 今からちょうど半年前、2025年11月号の本欄でウズベキスタンの交通事情を記しました。その後、街歩き中に交差点で信号待ちをしているときに考えさせられたことです。

交差点の信号で車両用以外に歩行者・自転車専用の信号機が設置されている場所があります。上下2段になっていて、上に赤色の立ち止まっている歩行者、下段に青色の歩いている歩行者がデザインされています。赤信号が点いているときは歩行者は横断禁止、青信号が点いているときは横断可能です。信号機によっては赤信号に変わったときに下段の両端に赤色のLEDライトが8つ点灯し上から順次消えていき、すべてが消えたときに青信号にかわり、青色信号の時には上段に青色のLEDライトが8個点灯しこれも順次上から消えていき、すべてが消えたときに赤信号に変わります。LEDライトが消えていくのを観察することによって信号の変わるタイミングを予測できるようになっています。

2 ウズベキスタンで見た信号機では数字を表示するカウンターが別に設置されていて、信号が変わるとその数字は信号が赤から青あるいは青から赤に変わるまでの秒数が表示され1秒ごとに数字が減っていきます。例えば45秒ごとに赤信号と青信号が交互に点灯する信号では信号の色が変わると数字が45になり1秒ごとに数字が減っていき45秒後に信号が変わってまた45に戻りLEDライトが順に消えていきます。

この方式は日本で見かけません。以前、高松市の瓦町一丁目交差点(ライオン通の南端が国道11号線とぶつかる交差点)で見かけたのですが、現在は無くなっているように思います。GoogleStreetViewでは現在2024年9月に撮影された写真を見ることができ、歩行者・自転車専用信号機の標識と実際の信号機の間には[あと〇〇秒]のカウンターが見えます。

3 この2つの方式の優劣を議論するのでは無く、それぞれの方式で信号が変わるまでの時間をどのように

知ることができるかを考えます。

ウズベキスタン方式では見ればそのまま信号が変わるまでの秒数が分かり何も考える必要はありません。一方LEDライトが消えていく方式で信号が変わるまでの時間は簡単に分かるのでしょうか。そもそもLEDライトが両側に8個ずつあることは今回の疑問を解決するためには何信号か交差点に立ち止まって観察して分かりました。観察の前には両側に10個ずつあると思っていました。時計で計ったのではないのですが消えていくのは等間隔になっているようです。5秒で1個ずつ消えていく場合、信号は40秒で変わることになります。

4 では実際に交差点にさしかかったときに赤信号だとしたら、何秒後に青信号に変わるのかはどうすれば分かるのでしょうか。次のような情報が必要です。

- (1) LEDライトはすべて点灯すると片側にいくつあるか(初めて見ると一部が消えているので全点灯でいくつかは意外と分かりづらい)
- (2) LEDライトは何秒間隔で消えていくのか(LEDライトが何個か消える間に観察しないと分からない)
- (3) 現在点灯しているLEDライトの個数と(2)で分かった秒数を掛けて信号が変わるまでの時間を計算できる。

かなり面倒なことをしないと信号が変わるまでの時間を知ることは出来ないのです。

前述したように本稿では信号での待ち時間の表示方式の優劣を論じているわけではありません。得られる情報から正確な時間を知るためにはかなり面倒くさい計算をしなければならぬこと、言い換えれば計算は面倒だけれども待ち時間を求められないことは無いことを知ってほしかったのです。

信号機本来の役割から考えると、待ち時間を正確に知って正しく横断して貰えれば良いのですが、信号が変わる時間が短いときに無理をして交差点を突っ切ってしまおうとする車両を誘発しないことを願うばかりです。

中央会だより 1

組合事務局代表者等研修会を開催

本会は4月23日、本会研修室（高松市）において組合事務局代表者等研修会を開催し、組合役職員約40名が出席しました。まず始めに、株式会社商工組合中央金庫 高松支店次長 松本祐介氏を講師にお迎えし、「手形小切手の廃止及び電子記録債権の活用について」をテーマにお話いただきました。

電子記録債権についてのメリットや操作方法などの説明があり、出席者は熱心に受講されていました。

引き続き、本会事業振興部・片岡課長より「組合事務局代表者が知っておくべき実務のポイント」をテーマに、決算期の事務手順や事業報告書、決算関係書類の作成、登記手続きや組合法に対応した事務処理、行政庁に提出する書類等、実務面を中心に説明を行いました。

出席した組合事務局の方々は今後、通常総会の議案書作成に始まり、監査会、理事会及び通常総会の開催並びに定款変更、代表理事変更等に伴う登記まで一連の各種組合手続きが続く多忙な時期に入ることもあり、熱心に受講されていました。



▲松本講師



▲講師の片岡課長



▲会場の様子

総会終了後の事務手続きをお忘れなく！

●決算関係書類の提出

組合は、通常総会終了後2週間以内に、事業報告書及び決算関係書類を所管行政庁に提出することが義務づけられています。

【提出書類】

- 事業報告書 ○財産目録 ○貸借対照表 ○損益計算書 ○剰余金処分案又は損失処理案
- 前記の書類を承認した通常総会の議事録

●役員変更届の提出

役員に変更があった場合は、変更のあった日から2週間以内に所管行政庁に届け出ることが定められています。役員の変更とは、役員の住所・氏名の変更や改選・補充・辞任、代表理事等の交代など役員に関する一切の変更をいいます。

●代表理事の変更登記

組合は代表理事の住所、氏名のほか、組合名称、事務所所在地、事業並びに出資金等を登記しています。これらの事項に変更があったときは、変更のあった日から2週間以内に法務局に登記を行う必要があります。

特に、代表理事は再選された場合も、変更に対応するので登記が必要です。ご注意ください。

☆下記本会ホームページにおいて決算関係書類、役員変更届、議事録等の様式を活用することができます。

<https://www.chuokai-kagawa.or.jp/chuokai/download/index.html>

☆事務手続き等について、ご不明な点がございましたら本会指導員までご相談下さい。

令和8年度中小企業組合等課題対応支援事業のお知らせ

新たな活路の開拓、単独では解決困難な諸問題、その他中小企業の発展に寄与する取組について、支援を行います。

1. 中小企業組合等活路開拓事業

事業名	活路開拓事業	展示会等出展・開催
目的	専門家を招聘した委員会で検討を行い、市場調査、試作品の開発、ビジョンの策定、成果を発表するなどして、課題を解決、成果を共有する取組を補助します。	国内外の展示会への出展や展示会の自主開催を補助します。(商品等の販売を伴う出展・開催は不可) ※バーチャル展示会への出展も補助対象(バーチャル展示会の開催は不可)となります。
取組内容の例	<ul style="list-style-type: none"> ●組合員の意識や経営環境を調査したい ●他業界で成功している手法を学びたい ●共同施設のリニューアルの方向性や課題を考えたい ●厳しい環境規制に対応する方策を検討したい ●SDGsを学び業界を挙げて実践したい など 	<ul style="list-style-type: none"> ●進出していない地域で展示会を開催して販路拡大の可能性を調査したい ●バーチャル展示会に出展して幅広くニーズを把握したい ●海外の展示会に出展して海外取引拡大の足掛かりとしたい など
補助金額	大規模・高度型※: 上限 2,000 万円 通常型: 上限 1,200 万円 下限 100 万円 <small>※大規模・高度型は、補助金申請予定額が 1,200 万円を超え事業終了後 3 年以内に売上高が 10%以上増加することが見込まれるもの、または、コストが 10%以上削減されることが見込まれるものに限りま。</small>	上限 1,200 万円 下限なし
補助率上限	6/10	

2. 組合等情報ネットワークシステム等開発事業

事業名	基本計画策定事業	情報システム構築事業
目的	組合等がシステム等の構築を目指して実施する、組合等の事業の業務分析、計画立案、RFP(提案依頼書)策定等を補助します。	組合等を基盤とした情報ネットワークシステムの構築や、組合員及び関連する中小企業の業務効率化のためのアプリケーションシステムの開発で、システム的设计、開発、稼働、運用テスト等や組合員等に対するシステム普及のための講習会の開催を補助します。
取組内容の例	<ul style="list-style-type: none"> ●WEBシステムを活用した組合員間ネットワーク構築のための基本計画策定 ●災害等のリスク対応のための組合員の在庫・文書等管理システム整備のための研究 ●組合業務管理システムのクラウド化のための業務分析、調査研究 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●組合員の発注業務効率化のためのメーカー・卸間のEDIシステムの開発 ●組合員のローコストオペレーションを可能にする店舗販売管理システムの開発と普及 ●WEBサイトを活用した組合員の取扱う製品の共同販売システムの構築 ●クラウドを活用した組合員の取扱う製品等の管理システムの構築 など
補助金額	大規模・高度型※: 上限 2,000 万円 通常型: 上限 1,200 万円 下限 100 万円 <small>※大規模・高度型は、補助金申請予定額が 1,200 万円を超え事業終了後 3 年以内に売上高が 10%以上増加することが見込まれるもの、または、コストが 10%以上削減されることが見込まれるものに限りま。</small>	
補助率上限	6/10	

日 程	公募期間	第2次募集	第3次募集
		4/1~5/22	7/6~8/6
	応募内容に関わる質問期間(書面)	6月中旬頃	8月下旬頃
	審査結果公表	7月上旬頃	9月中旬頃
	交付申請説明等	7月中旬~	9月下旬~
	事業開始(終了は翌年2月15日)	7月下旬~	10月上旬~

●秋以降の事業開始を予定している場合でも、第2次募集に応募できます。

なお、第2次募集において予算枠に達した場合、第3次募集は実施しません(7月上旬頃発表)。お問い合わせ先 香川県中小企業団体中央会 総務企画部 087-851-8311

※事業の詳細は、全国中小企業団体中央会ホームページ(<https://www.chuokai.or.jp/>)で確認できます。

先進組合事例抄録

全国中小企業団体中央会では、中小企業・小規模事業者や組合等連携組織が、新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考となるよう、知識や経験、ノウハウの移転・活用につなげることを目的に掲げ、都道府県中小企業団体中央会と連携し、課題解決等に先進的に取り組む組合活動事例について調査・分析、収集・普及を行っております。

令和7年度は、「生産性向上・省力化・デジタル化事例」、「地域・社会・業界の課題解説事例」、「特徴ある活動」の3テーマを取り上げ、「先進組合事例抄録」としてとりまとめています。

今回、ご協力いただいた香川県の事例を紹介します。

テーマ 生産性向上・省力化・デジタル化事例

香川県タクシー協同組合

「香川 Taxi」アプリの運用で、サービス向上と効率的な配車を達成

住所：〒760-0065
香川県高松市朝日町五丁目4番27号
香川ハイタク会館内
URL：http://taxi-kagawa.com/
設立：昭和28年1月
出資金：30,080千円
主な業種：一般乗用旅客自動車運送業
組合員数：67人

背景・目的

香川県内のタクシー事業者の多くは小規模経営であり、個別の配車体制では効率が上がらず、多くの機会損失が発生していた。さらに、ドライバー不足や高齢化などにより売上の伸び悩みに直面していた。これらの状況を改善すべく、2025（令和7）年4月より、地域密着型タクシー配車アプリ「香川Taxi」の運用を高松地域から開始した。

取組みの手法と内容

組合内に「配車アプリ導入特別委員会」を設置し、実証実験を経て本格運用を開始した後も、継続的に課題検討を行っている。本アプリは運用開始から8月までに、利用者において約1万5,000件のダウンロードを記録した。全国展開する大手タクシーアプリ（GO、DiDiタクシーなど）とは比較にならないが、高松地域においては極めて良好な推移と言える。今後の目標はさらにPRに努めて、「香川Taxiアプリ」経由の注文比率を現在「電話9：アプリ1」のところ早急に「8：2」程度まで引き上げる。一方の実車についてはこれに伴う需要増に対応するため、現在の運用台数257台を早急に

400台程度規模へと拡大させる。

当組合においては普段より組合員間で協力する体制が構築できており、懸念されていた地域を中心とする高齢者の利用についても、スマートフォンの普及により円滑に導入が進んでいる。各組合員の事業規模や事業を行っている地域の特性には違いがあり営業姿勢も異なるので、無理に全組合員に普及させようとは考えていない。今後は運用地域の拡大として、中讃・東讃エリアへの展開をまず考えている。そして、旧態依然とした業界イメージを払拭して、ドライバー採用の増促進にもつなげていく。

成果とその要因

「香川Taxiアプリ」は大手アプリと比較し機能がシンプルで、利用者にとっては操作が簡単という利点があり、組合員



（出所 <https://takamatsu-taxi.com/?p=1960>）










にとっても手数料を低く抑えられるメリットがある。今後はさらに利便性向上のための機能拡充と運用台数・対応エリアを拡大することで、県内において大手アプリと十分に競合できるものと考えられる。ここ数年コロナ禍等の影響で当地のタクシー業界は沈滞した状況だったが、本事業への真摯な取り組みを通じて業界全体に前向きな姿勢が醸成されつつある。

事業・活動促進のキーファクター

配車アプリ導入特別委員会が実証運用を慎重に行ったことで使い勝手のよいアプリとなり、運用開始にあたり組合員間で協力する体制が十分構築できていたこと。

中東情勢による経営への悪影響が懸念されており、景況感は大幅に低下した。

2026年3月

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和8年4月期の輸入小麦政府売渡価格は、従来からの改定ルールに基づき2.5%の引上げとなった。今春見込まれる輸送費や労務費等のコスト上昇分を製品価格にどう反映するかは不透明である。また、イラン情勢が長期化すれば、小麦相場、原油相場、為替相場等に大きな影響を与える。(製粉製麺) ●4月の価格改定で各社試行錯誤しているようである。大手は全体的に値上げの方向だが、それ以外は外食産業のみの値上げが多いようである。小売の値上げは難しい。年明けから外食の価格が1.5倍に上がって驚いている。内食が益々増加し、景気が悪循環になるような気がする。大手は輸出に販路を見出し企業努力もしながら活躍している。これからは創意工夫し10年、もっと先に目標を決め進めるのが望ましい。イラン戦争の影響で石油価格が急騰し、製品用バック等の見積も値上げ変更等有り、商品値上げも検討が必要になってくる。ガソリン値上げも打撃で、今まで通りの営業もできなくなってきているようである。(味噌) ●日本冷凍食品協会による1月の冷凍食品生産数量は昨対110.2%となった。カテゴリー別にはフライ揚げ物類105.8%、フライ類以外の調理食品114.1%、菓子類83.0%となり、菓子類が大きく前年を下回り、他の2カテゴリーは大きく前年を上回った。業態別では市販用が114.6%、業務用が102.5%という結果となった。イラン情勢による原油高は、冷凍食品メーカーにとって致命的である。①製造・保管コスト ②物流コスト ③原材料コスト ④節約志向による消費者行動の変化、これらに加えて人件費の上昇など、未曾有の事態をどのようにして乗り越えていくのかが問われている。(冷凍食品)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●3月は夏商戦の始まる時期だが、その夏使用の商材の立ち上がりは気候に影響されやすい。今年の場合は寒い日が多かったせいもあり、4月へすれ込む需要が多いとのこと。また、会員企業より需要の停滞、それから製品ニーズの変化への対応が問題点として洗い出されているが、いずれも根深く、現実的な打開策は見いだせない状況である。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●中東情勢、原油、ナフサ、原材料の出荷制限や値上がりが凄まじく、製造業にとっても大打撃であり、混迷を極めている。石油由来の資材・原材料(シンナー・塗料)の代替策を考えているが未だ見通せない。(家具) ●物価高に加えイラン情勢の影響によりさらに不安定な状況であり、この先いろいろ値上げが考えられる。建物も小型化になり、ますます業界は厳しい状況が続くと思われる。(製材) ●建築資材等の価格高も一因であると考えられる新設住宅の建て控えが続いている。建築する住宅は、価格を抑えるため2階建てから平屋建てが増えており、木材の使用量がますます減少する傾向にあり厳しい業況が続いている。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●中小受託取引適正化法対象企業に対して、取引条件が良くなってきているので助かっている。だが、売上に関してはまだまだ伸び悩んでおり、この3月で半期が終わるため、新たな気持ちで取り組もうと思っている。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●4月より価格改定を実施する。今後の資材高騰が懸念される。(生コン) ●お彼岸に向けての需要も中国の春節時期の受注も何の変化もなく過ぎた。本当に産地全体が厳しさを増している。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●一部、石油製品の資材の入手が難しくなっている。値上げ交渉を実施している。(鋳物) ●今年の3月は平年通り仕事が出てきたようである。ただ、一部の業種(建築鉄骨、製缶品)で陰りが見え始めている。アメリカが起こした戦争の影響で軽金属や樹脂関係の値上がりが顕著で、かつ、塗料用のシンナーや機械用の潤滑油も入手しにくくなってきている。(鉄鋼) ●建築業界は、今回の世界情勢を受けナフサを主とした原料の調達が困難になっており塗料・シンナーの供給に大きな影響が出ている。現在、塗料メーカーは新規受注の一時出荷停止となり受注物件が少ない中、さらに厳しい状況にある。夏以降の建築鉄骨需要も先行き不透明で、今後の見通し予測は難しい。(建設用金属)
輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●前月同様に安定操業が続いている。業況に変化はない。(造船) 	
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の職人が増える中、老々介護に続き、本人の入院などで製作不可能になるケースが出てきている。後継者育成事業を実施しているがこれまでの職人の引退が懸念される。(うちわ) ●3月は新年度の業者の移動や引っ越しなどがあり、変わり目で雇用が伸びたと考えられる。円安が消費に大きく影響してきた。燃料費の高騰や材料費の値上がり、電気、水道、ガスその他の上昇に先が見通せない。(漆器) ●各社まちまちのようであるが、3月末が決算の会社は悪くない決算状況となっている。(綿寝具) 	
非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●相変わらず、雨不足の影響で春物の出荷が例年より少し悪い。八百屋業界の後継者不足と同様、生産者にも後継者不足が問題となっている。(青果物) ●3月は今までにないほどの価格の乱高下があった月となった。表面上は補助金や備蓄放出により、昭和の石油ショックのような混乱はないが、タンカーが日本に来ないの根本的な原因の解消となっていない。戦争が終わるのを祈るばかりである。(石油) ●中東情勢の影響でエルピーガスの輸入価格が急騰している。消費者への影響は早くも5月分、遅くとも7月分から価格に反映される。香川県エルピーガス料金高騰対策は3月4月の2ヶ月で終了する。(エルピーガス) ●仕入価格の上昇に伴い販売価格も上昇はしているが、利益の全体的な底上げまでは追いついていない。急激な値上がり感により4月以降すべての商品の販売難易度が上がりそうである。電気業界としてはエアコン・LEDを筆頭に商機はあるが、在庫の確保や納期短縮がどこまでできるかが問題である。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●中東情勢の不安定化によるエネルギーや資源価格の高騰が、現状すぐに消費の現場に悪影響が出ている感覚はない(株価も増減あるが、大幅な減少ではない)が、長期化すると消費全体に大きな影響が出てくるものと思われる。合わせて、中国からのインバウンド客は減っているものの、台湾や東南アジア、韓国(増便)からのインバウンド客が減っていないことやサンポート地区の賑わい(県立アリーナで週末に開かれるコンサートイベント等)が、相変わらず商店街へ波及してくれており、通行量は前年超え(約15%)をキープしている。ただし、通行量の増加が飲食店には恩恵をもたらすが、物販店の売上には直接結びついていない。3月は百貨店がいつになく集客

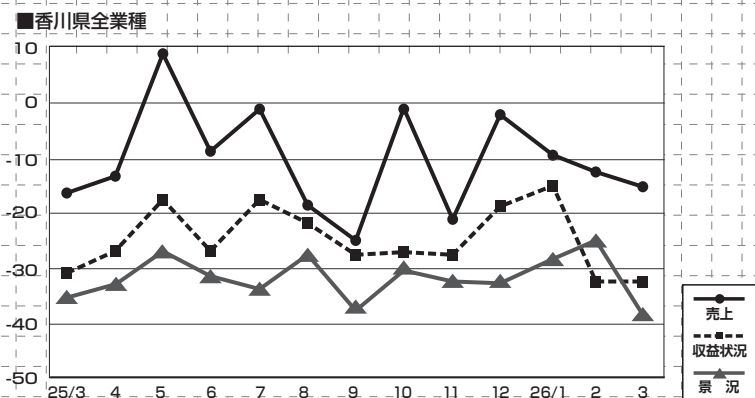
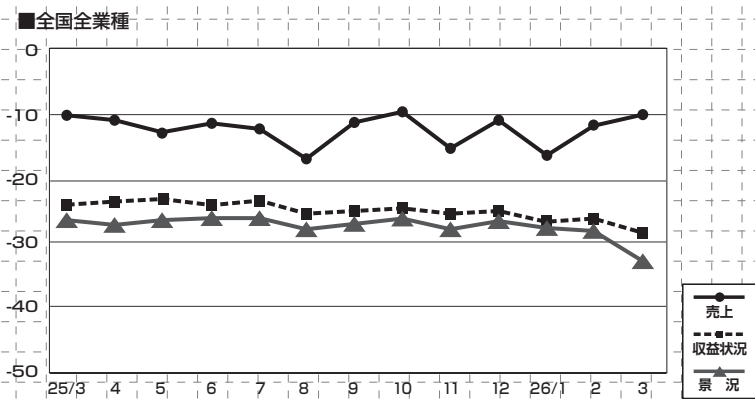
3月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-14.6ポイントで前月調査の-12.5ポイントから2.1ポイントの悪化、収益DI値は-31.3ポイントで前月調査と同値、景況DI値は-37.5ポイントで前月調査の-25.0ポイントから12.5ポイントの悪化となった。

非製造業	商店街 	<p>催事をふんだんに行ったこともあり、来街者数や商店街全体の売上にも好影響となった。一方、中国（上海、香港便）からのインバウンド客減少は高級輸入バッグや雑貨、宝飾品の一部で売上にダメージが続いている。また、国内客の高額品（バッグ、宝飾）需要、円安や金属価格高騰により、年に数回値上げとなり、概ね売上がダウンしているが、輸入高級時計のみは好調が続いている。昨年10月末にオープンした人気店の集客は落ち着きを見せてはいるが、やはり広域から集客してもらえているので、人気店へ来られたお客様は商店街北部エリア（百貨店、壱番街周辺）へも回遊されている実態があり、有難い。サンポート地区の賑わいを商店街にも繋げることを目的に、香川県は既に「まちなか直行バス」を2月1日から実験運行を開始してくれているが、本年は更に、3億7千万円の予算取りを発表、更なる中心市街地への回遊性向上のプロムナード化に力を注いでくれていることを頼もしく感じている。（高松市①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商店街を行き交う人々の足取りは重く、ガソリンの値上げや物価高の影響が感じられる。来月は入学式や入社式など明るい話題と共に商店街に良い情報が舞込むことを祈るばかりである。（高松市②） ●暖かくなっているにも関わらず商店街の通行量は少ない。閉店時間も早く6時にはほとんどの店が閉まっている状況である。（丸亀市①） ●新市民会館の9月オープンに向けて、お城・役所界隈で小さなイベントが何度か開催され、来客で賑わっていたが、商店街への波及効果は見られなかった。彼岸の3連休に、個人の団体が「おしほのまちの市」を商店街の各所で開いたが、いつもと比べて来客が驚くほど少なかった。ガソリンの値上がりなどで、「外へ出かける」という意識が縮小しているとも感じた。（丸亀市②） ●観音寺スマートIC（R8年夏開業予定）や大型インフラ整備である、新「道の駅」かんおんじ（仮称）（R10年開業予定）を織り込んで市街地から一直線で約1.5kmの国道11号線沿いにスーパーマーケットを中心とする複合型ショッピングタウンが3月下旬に開業した。都会的ではないが、我々の急所弱点を突くには十分である。都市間の競争としては国道11号線の車線拡幅とともに良いことと感じる。（観音寺市）
	サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●前月と比べると顧客数並びに売上も増加している。価格の上昇に対し、製品価格への転嫁を図らなければやっていけない。人材不足が深刻であり、様々な手法を試しているが雇用が困難な状況が続いている。（ディスプレイ） ●新年度前で行政へのアプローチが鈍化した。（情報） ●美容サロンやエステサロン等で、まゆ毛や毛髪等に墨等の色素を入れるアートメイク施術について、厚生労働省・経済産業省との連名で、医療行為に当たることから医師免許を有しない者が業として行えば医師法違反となる通達があったので組合員宛に注意喚起を行った。（美容）
	建設業 	<ul style="list-style-type: none"> ●香川県における有効求人倍率は、高い水準を維持している。しかし、建設業（特に土木）の入職者（希望者）は低いのが現状である。ただ、業界全体で週休2日や時間外労働は正に向けた取組みが浸透してきたこともあり、春からの新規入職を予定している企業もあるが、限られた企業のみである。また、入職者問題だけでなく、後継者問題も深刻であり、それが原因で会社をたたむ事態も今後増える可能性がある。（総合建設） ●中東紛争の影響で石油の輸入制限のため、各メーカーの対応が厳しくなってきている。（板金工事）
	運輸業 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和8年2月の輸送実績は対前年同月比で営業収入101.2%、輸送人員は101.2%と大きな変化はなかった。（タクシー） ●令和8年2月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は同比となり、対前月比では2.3%減となった。また、2月分利用車両数の対前年同月比は0.2%減となった。（トラック）

香川県内の業種別DI値の変化（対前年同月比）

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品			
	繊維工業			
	木材・木製品			
	印刷			
	窯業・土石製品			
	鉄鋼・金属製品			
	輸送用機器			
	その他			
非製造業	卸売業			
	小売業			
	商店街			
	サービス業			
	建設業			
	運輸業			
	その他			

DI値の推移（対前年同月比）



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧いただけます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリ-S・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED・・・Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実にに向けたサポート強化

(お客さまライフステージ)



本業支援 事業性評価を起点とした本業支援
○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援 お客さま支援の基本となる金融支援
○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

**株式会社商工組合中央金庫
高松支店**

〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8

TEL.087-821-6145

FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

地域経済の産業活動の維持・発展のために、事業の譲渡、株式の譲渡、合併などにより経済的または社会的に有用な事業や企業を承継・集約する中小企業者および事業を承継・集約される中小企業者の資金調達の円滑化を支援します。

詳しくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○事業承継・集約・活性化支援資金の概要

ご利用いただける方	1 中期的な事業承継を計画し、現経営者が後継者(候補者を含みます。)と共に事業承継計画を策定している方 2 安定的な経営権の確保等により、事業の承継・集約を行う方および当該事業者から事業を承継・集約される方 3 中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律(経営承継円滑化法)第12条第1項第1号の規定に基づき認定を受けた中小企業者(同項第1号イに該当する方に限ります。)の代表者、同法第12条第1項第2号の規定に基づき認定を受けた個人である中小企業者または同法第12条第1項第3号の規定に基づき認定を受けた事業を営んでいない個人の方 4 事業承継に際して経営者個人保証の免除等を取引金融機関に申し入れたことを契機に取引金融機関からの資金調達に困難になっている方であって、公庫が融資に際して経営者個人保証を免除する方 5 事業の承継・集約を契機に、新たに第二創業(経営多角化・事業転換)または新たな取組みを図る方(第二創業後または新たな取組み後、おおむね5年以内の方を含みます。)	
お使いみち	「ご利用いただける方」の1に当てはまる方が、事業承継計画を実施するために必要な設備資金および運転資金 外	
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	7,200万円(うち運転資金4,800万円)
	中小企業事業	14億4千万円
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金	20年以内<うち据置期間5年以内>
	運転資金	10年以内<うち据置期間5年以内>
利率(年)	国民生活事業	基準利率、特別利率A、特別利率B
	中小企業事業	基準利率、特別利率①、特別利率②
担保	お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます。	

〈支店窓口〉株式会社 日本政策金融公庫 高松支店

URL : <http://www.jfc.go.jp>

〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274

中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423

農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

栄えある受章、知事表彰受賞おめでとうございます

春の叙勲受章並びに憲法記念日の知事表彰を受賞されました会員組合役員等の方々をご紹介します。(順不同・敬称略)



瑞宝中綬章 西原 義一 香川県信用保証協会

旭日双光章 須田 雅夫 観音寺信用金庫
丹生 兼宏 香川県生コンクリート工業組合
田村 雅宥 一般社団法人香川県トラック協会

知事表彰

真鍋 道雄	香川県農機具商工業協同組合	春瀬 隆昭	協同組合オリーブエコサービス
岡 隆夫	香川県中古自動車販売商工組合	庄司 三千雄	公益社団法人香川県宅地建物取引業協会
松浦 一郎	高松市上下水道工事業協同組合	三宅 慎二	観音寺市上下水道工事業協同組合
東原 寛二	高松食肉事業協同組合	植田 敏弘	丸亀市上下水道工事業協同組合
荒木 誠治	香川県テントシート工業組合	若宮 達也	香川県石油商業組合
木下 博登	香川県家具商工業協同組合	岡野 朱理子	協同組合フリーネットワーク



令和8年度通常総会並びに創立70周年記念式典のお知らせ

令和8年度通常総会並びに創立70周年記念式典を次の通り開催いたしますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

- 日 時：令和8年6月18日(木) 14時30分～
- 場 所：高松国際ホテル(高松市木太町2191-1)
- 内 容：令和8年度通常総会14時30分～、創立70周年記念式典16時00分～

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	イン・ザ・メガチャーチ	朝井リョウ	日経BP/2,200円
2	ハーバード、スタンフォード、オックスフォード…科学的に証明された すごい習慣大百科 人生が変わるテクニック112個集めました	堀田秀吾	SBクリエイティブ/1,760円
3	大河の一滴 最終章	五木寛之	幻冬舎/1,980円
4	地域でいちばんピカピカなホテルの すごい仕組み	宝田圭一	あさ出版/1,650円
5	謎の香りはパン屋から 2	土屋うさぎ	宝島社/1,650円

香川県書店商業組合調べ